

日本学術会議 公開シンポジウム
グローバル時代のデータ利用と可視化

主催：日本学術会議 地球惑星科学委員会 地球・人間圏分科会

サイバー空間(仮想的データ空間)とフィジカル空間(現実社会)が高度に融合した超スマート社会(Society 5.0)では、ビックデータ、リアルタイムデータ、オープンデータなど様々なデータを、地球的なレベルから身近な地域社会のレベルまで、社会の合意形成に留意しつつ統合する必要がある。GISなどの高度情報システムを学術の英知を基に活用することで安全・安心な社会を構築する有効な手段ともなろう。本シンポジウムでは、地球人間圏科学に軸足を置き、データの集積、可視化、利用という観点から、社会との協働・協創を踏まえた議論を行いたい。

日時 2018年 10月15日(月曜日) 13:30-17:00

場所 日本学術会議講堂

13:30-13:40 開会挨拶と趣旨説明：春山成子(日本学術会議第三部会員、三重大学生物資源学部教授)
司会：小嶋智(日本学術会議連携会員 岐阜大学工学部教授)

13:40-14:00 高橋桂子(日本学術会議第三部会員 海洋研究開発機構地球情報基盤センター長) Society5.0
と「可視化情報」—科学技術からの貢献—

14:00-14:20 石川徹(日本学術会議連携会員 東京大学大学院情報学環教授)
地理情報と空間リテラシー

14:20-14:40 村山泰啓(日本学術会議連携会員 情報通信研究機構ソーシャルイノベーションユニット戦略
的プログラムオフィス研究統括)
オープンサイエンスの目指すグローバルなデータ利用ビジョン

14:40-15:00 山形与志樹(日本学術会議連携会員 国立環境研究所・地球環境研究センター主席研究員)
ビックデータを用いた気候変動リスクへの対応

15:00-15:20 伊藤悟(日本学術会議連携会員 金沢大学人間社会研究域教授)
ユビキタス GIS と防災教育

15:20-15:40 矢野桂司(日本学術会議連携会員 立命館大学文学部教授)
協働によるジオデザインのフレームワーク

15:40-16:00 山田育穂(日本学術会議連携会員 中央大学理工学部教授)
ウォーカビリティ—都市の環境から健康を考える—

16:00-16:20 谷口真人(日本学術会議連携会員 総合地球環境学研究所副所長)
未来へのランドデザイン—システム知・目標知・転換知の構築へ向けた可視化

16:20-16:50 総合討論

司会 村山祐司(日本学術会議連携会員 筑波大学生命環境系教授)

16:50-17:00 閉会の挨拶 平田直(連携会員 東京大学地震研究所教授)

参加費無料、事前登録不要

問い合わせ先 春山成子
三重大学生物資源学部 電話番号 059-231-9576